大学改革この一年

－ 広島大学の改革の歩み －

令和２年１０月 ～ 令和３年９月の取組

HIROSHIMA UNIVERSITY

建学の精神（昭和 25 年 11 月）

○　自由で平和な一つの大学

理念５原則（平成 7 年 10 月）

○　平和を希求する精神

○　新たなる知の創造

○　豊かな人間性を培う教育

○　地域社会・国際社会との共存

○　絶えざる自己変革

SPLENDOR　PLAN　2017

（平成 29 年 4 月）

○ミッション（使命と役割）

　新しい平和科学の理念＝「持続可能な発展を導く科学」を確立し，多様性をはぐくむ自由で平和な国際社会の実現

○全体コンセプト

　「持続可能な発展を導く科学」を実践する世界的な教育研究拠点の構築

総合戦略室
令和 3 年 10 月 作成

◎　大学の改革に向けての方向性

～「平和を希求する大学」として 100 年後にも世界で光り輝くために～

令和３年３月 22 日に，本学が第４期中期目標期間において果たすべき役割を教職員へ示し，進むべき方向性を共有するため，以下の理念と基本方針のもとに，「第４期中期目標期間における広島大学のあるべき姿（案)」を策定した。

(理念と基本方針)

「自由で平和な一つの大学」として建学された広島大学は，世界最初の被爆地である国際平和文化都市ヒロシマにある国立の総合研究大学として，平和を希求する精神，新たなる知の創造，豊かな人間性を培う教育，地域社会・国際社会との共存，絶えざる自己変革，という理念５原則の下，世界から期待される役割をたゆまず省察し，自由で平和な国際社会を実現するための使命を果たす。

新しい平和科学の理念である「持続可能な発展を導く科学」を実践する世界トップクラスの教育研究拠点を構築し，地域社会と国際社会を繋ぐ知的拠点として，海外大学の誘致や Town（地域住民や地方自治体）と Gown（大学）が協働する「Town & Gown 構想」の展開により地方共創の主役を担い，多様性を育む自由で平和な国際社会の実現に貢献する「平和を希求しチャレンジする国際的教養人」を育成する。

また，変動し続ける社会において，100 年後にも世界で光り輝き続ける大学であるために，教育・研究・社会貢献・医療・マネジメントのすべてで自主的・自律的な機能強化及び未来への投資を図る。研究者の自由な発想に基づく基礎研究を推進するとともに，社会課題の解決，とりわけ SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて，カーボンニュートラルや Society5.0 等の実現に資する取組を強化し，恒久平和と一人ひとりの多様な幸せ（well-being）を実現するための新たな知と価値を常に自己創成する。

☆　本学にとって初めての国際連携専攻の設置

・本学にとって初めての国際連携専攻（ジョイント・ディグリー・プログラム）となる「広島大学大学院人間社会科学研究科広島大学・グラーツ大学国際連携サステイナビリティ学専攻」及び「広島大学大学院先進理工系科学研究科広島大学・ライプツィヒ大学国際連携サステイナビリティ学専攻」を設置

【令和２年 10 月】

☆　大学院に新たな学位プログラムを開設

・スマート材料開発，スマート計測・制御に関連する深い専門性を身に付けると共に，産業界との密接な連携により，社会が求めるニーズを多面的にとらえ，高度な専門知識を融合・連携させる応用力と実践力に優れた専門技術者及び研究者の養成を目的とした「スマートイノベーションプログラム」を先進理工系科学研究科に設置【令和３年４月】

☆　教育研究に関する協定の締結

・多方面で相互の教育・研究活動の交流と連携・協力を推進することを目的として和歌山県立医科大学と大学間交流に関する包括協定を締結【令和３年１月】

・共同研究，学校教員の資質向上に関する取組，研究者間交流並びに地域支援などを組織的かつ効果的に推進することで，特別支援教育，インクルーシブ教育システムの構築・推進及び関連分野の発展・推進に寄与することを目的として独立行政法人国立特別支援教育総合研究所と包括連携協定を締結

【令和３年３月】

☆　広島大学創立 75 周年記念事業構想として「広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金～広島大学の取組構想～（令和元年５月)」に掲げている東千田キャンパスの取組を推進するため，法学部と大学院人間社会科学研究科人文社会科学専攻法学・政治学プログラムを東広島キャンパスから東千田キャンパスに移転し，東千田キャンパスを「法曹養成を核とした人文社会科学系の新たな拠点」，霞キャンパスを「医療人養成拠点」としての整備を決定【令和３年６月】

◎　教育に関する取組

○　平和を希求し，チャレンジする国際的教養人の育成

平和を希求するグローバルな視野と幅広く深い教養，豊かな人間性を涵養することを基軸とし，さまざまな教養教育・グローバル教育を展開

☆　オンラインツールを活用した海外大学の教員・学生との交流を行う新たな国際協働教育プログラム「e-START/START＋プログラム」を実施【令和３年１月～３月，７月～９月】

☆　全学部必修科目「大学教育入門」の一環として，スポーツ，芸術，科学，ビジネスなど各界で活躍するリーダーによる講演「世界に羽ばたく。教養の力」を対面形式で開講（新型コロナウイルス感染拡大に伴い，一部講演動画を視聴する形式で開講）【令和３年４月～６月】

○　教育成果に係る評価

☆　イギリスの高等教育専門誌「Times Higher Education」が公表した，学生の学びの質や成長性に焦点をあてた「世界大学ランキング日本版 2021」で，教育充実度及び教育成果において高い評価を受け，国内 10 位となった【令和３年３月】

○　その他教育に関する取組

☆　学生が充実した大学生活を過ごせるよう，本学の教育の取組や学生生活，留学，就職・キャリア支援などについてご理解とご意見をいただくために，学部１年次生及び２年次生の保護者・家族を対象とする「広島大学地域懇談会」を，福岡，岡山，別府，神戸，広島，松山の６地区で，一部オンライン配信等を活用し開催【令和２年９月～11 月】

☆　スポーツを通じた教育，研究，社会貢献により，本学学生の人材育成をはじめ，地域社会全体の活性化に貢献することを目的として，スポーツ科学センターを改組し，「広島大学スポーツセンター」を設置【令和２年 10 月】

☆　利用者の利便性向上を図るため，証明書発行に伴う業務コストに対する受益者負担の観点から徴収する手数料を原資とし，劣化している紙媒体の学籍簿及び成績原簿のデータ化を行うとともに，本学が発行する卒業証明書等の各種証明書について，インターネットによる申請とコンビニエンスストアでの受取を可能とする証明書コンビニ発行サービスを開始【令和３年１月】

☆　文部科学省「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」に，「学修者本位の教育の実現」「学びの質向上」の取組に関する２件で採択【令和３年３月】

◎　研究に関する取組

☆　AI･データサイエンス教育の開発と普及，企業との連携による研究力の強化を推進するための拠点として，「広島大学 AI・データイノベーション教育研究センター」を設置【令和２年 10 月】

☆　文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」の実施機関に採択され，情報・AI，量子，マテリアル，サステイナビリティ学の分野に入学する優秀な博士課程後期学生 53 人をリサーチフェローとして認定し，毎年度生活費相当の研究専念支援金 180 万円と研究費 30 万円のフェローシップの実施を行う広島大学大学院リサーチフェローシップ制度を開始（令和３年４月から 33 人の学生の支援を開始）【令和３年４月】

☆　世界トップクラスの研究大学として，国際展開力・発信力をさらに強化していくため，新たに「再生医療研究拠点」を自立型研究拠点に認定【令和３年８月】

☆　国立研究開発法人科学技術振興機構「次世代研究者挑戦的研究プログラム」に採択され，国際社会の持続的な発展に貢献できる博士人材の育成を推進することを目的として，「広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム」を創設し，採択された 40 大学中で 10 番目の支援者数となる 199 人の学生の支援を決定【令和３年９月】

☆　産学協働の研究拠点を大学内に長期的に確保し，研究活動の更なる充実と産業界への一層の貢献を目指し，新たに４つの「共同研究講座」を設置

・ウエストエネルギーソリューション・広島大学ソーラーシェアリング共同研究講座：株式会社ウエストエネルギーソリューション【令和２年 10 月】

・医療イノベーション共同研究講座：アボットジャパン合同会社，大日本住友製薬株式会社，株式会社フェニックスバイオ，特定医療法人あかね会，医療法人社団うすい会，医療法人たかまさ会，医療法人社団知仁会　他【令和３年４月】

・コベルコ建機心理適応型スマートシステム共同研究講座：コベルコ建機株式会社【令和３年４月】

・核酸医薬共同研究講座：株式会社 PURMX Therapeutics【令和３年８月】

◎　社会貢献に関する取組

☆　「カーボンニュートラル×スマートキャンパス 5.0 宣言」において，温室効果ガス排出実質ゼロを目指すカーボンニュートラルの実現と，進化を続ける情報通信技術を活用した「スマートキャンパス」の構築を 2030 年までに行うことを宣言【令和３年１月】

☆　凸版印刷株式会社，プラチナバイオ株式会社と連携して，AI を活用し，ゲノム編集のデータ処理を簡易化するゲノム編集支援オープンプラットフォーム「Genome Editing Cloud™」β版を開発【令和３年３月】

☆　スマートシティの実現に向けて，東広島キャンパスをフィールドとした自動運転シャトルの運行実証実験を開始【令和３年３月】

カーボンニュートラル×スマートキャンパス 5.0

☆　国連の SDGs の枠組みを用いて大学の社会貢献の取組を可視化する「Times Higher Education 大学インパクトランキング 2021」において，昨年に続き SDG４（質の高い教育をみんなに），SDG６（安全な水とトイレを世界中に），SDG11（住み続けられるまちづくりを）で国内１位となったほか，新たに SDG５（ジェンダー平等を実現しよう），SDG８（働きがいも経済成長も）でも国内１位を獲得し，総合スコアでも東北大学，筑波大学，京都大学，岡山大学，北海道大学，東京大学と並び国内１位にランクイン【令和３年４月】

☆　学術研究面，人材育成面または産学連携面等での国際的な展開を相互に連携しながら推進することを目的として，独立行政法人日本貿易振興機構と包括的連携協定を締結【令和２年 11 月】

☆　東広島キャンパスのスマート化・グリーン化や東広島市及びその周辺地域での Society5.0 やスマートシティの実現を目指すとともに，SDGs の実現も目指した新たな産学官連携モデルを構築することを目的として，以下３件の包括的連携協定を締結

・東広島市・住友商事株式会社【令和３年１月】

・東広島市・ソフトバンク株式会社【令和３年７月】

・東広島市・株式会社フジタ【令和３年７月】

東広島市，住友商事株式会社との協定締結

◎　国際戦略に関する取組

○　世界とつながる国際的ネットワークの構築

研究者や研究成果などの学術交流や学生交流など多様な国の大学間での様々な交流を深めるとともに，国際共同研究のハブ構築を目的とし，世界各国・地域の大学・機関との国際的ネットワークの構築を推進

☆　**アメリカのアリゾナ州立大学（ASU）サンダーバードグローバル経営大学院の広島大学グローバル校設置に併せて，ASU と本学をオンラインで結んだ授業をスタート【令和２年 10 月】**

☆　**中国の首都師範大学と新たな覚書を締結し，実践的な日本語運用能力向上のための教育を実施するため，首都師範大学内に「森戸国際高等教育学院北京校」を設置【令和３年４月】**

「森戸国際高等教育学院北京校」
設置に関する覚書締結

☆　新たな大学間国際交流協定の締結（８機関８協定）

・ブルゴーニュ大学【令和２年 10 月】
・マカッサル州立大学【令和２年 10 月】
・マレーシア・サバ大学【令和２年 11 月】
・ガララ大学【令和３年４月】
・マラウイ大学チャンセラー校【令和３年６月】
ほか３機関３協定

令和３年９月末までに累計 385 協定を締結

☆　新たに海外拠点を開設（１か国１拠点）

・エジプト・ガララ大学に「ガララ大学ピースメモリアルセンター」を開設【令和３年４月】

令和３年９月末までに累計 15 か国／地域 23 拠点を設置

○　その他国際戦略に関する取組

☆　本学におけるグローバル化への対応を全学的な視点から推進するため，「国際交流推進機構」を改編し，「グローバル化機構」を設置【令和２年 10 月】

☆　留学生受入れプログラム「広島大学森戸国際高等教育学院 3+1 プログラム」で，第５期生 44 人を受入れ【令和２年 10 月】

☆　エジプト，ザンビア，マラウイの計６大学と共同実施するトライアングル海外学習プログラムが文部科学省「大学の世界展開力強化事業（アフリカ諸国との大学間交流形成支援）」に採択【令和２年 12 月】

☆　アフガニスタン情勢の緊迫化を受け，現地にいる在籍生や修了生に対する支援を行うことを目的として，国際室の下に「特別対策室」を設置【令和３年８月】

☆　本学に在籍する私費留学生への経済的支援を通じ，修学に専念できる環境を整えることで，世界で活躍するグローバル人材の持続的な育成・輩出することを目的として，「広島大学外国人留学生支援基金」を設置【令和３年９月】

☆　**東広島市から５億円の支援を受け，イノベーション創出，国内外の多様な人々と知識の循環，海外のトップ研究者や優れた留学生に対する安全で快適な居住空間の提供など複合的な機能を持つ国際交流拠点施設「広島大学フェニックス国際センター ミライ クリエ（通称：MIRAI CREA）」が竣工【令和３年９月】**

広島大学フェニックス国際センター
ミライ クリエ

◎　病院に関する取組

☆　専任の漢方専門医を招請するとともに，鍼灸師による鍼灸外来を開始し，漢方診療センターにおける教育・研究・診療体制を強化【令和３年４月】

☆　渡航受診者受入れに意欲のある病院の受入体制や取組，渡航受診者を受け入れる診療科において提供する診断・治療の実績について，所定の基準を満たす病院として，一般社団法人Medical Excellence JAPANから「ジャパン インターナショナル ホスピタルズ」に推奨

【令和３年１月】

「ジャパン インターナショナル ホスピタルズ」に推奨

◎　管理運営に関する取組

☆　所有施設等の有効活用による自己収入の拡大と，教育研究環境の向上を図ることを目的としたネーミングライツ制度を創設し，第１号となる「KATO OMOSHIRO LAB」が誕生【令和２年 10 月】

☆　在学生，教職員，同窓生，市民の方々と交流する事業「第 14 回ホームカミングデー」を，初めてオンラインホームカミングデーと同時開催【令和２年 11 月】

☆　10 年後の情報環境及びデジタル技術を活用した教育･研究･支援業務等のあり方を見据え，本学における DX 推進に向けた基本方針や優先実施事項等を定めた「広島大学 DX 推進基本計画」を策定【令和３年１月】

ネーミングライツ制度第１号
「KATO OMOSHIRO LAB」

☆　国立大学法人がそれぞれの特性等を踏まえた仕組みを継続的に構築していくための基本原則として，文部科学省，内閣府の協力を得て国立大学協会が策定・公表した「国立大学法人ガバナンス・コード」への適合状況を点検した「広島大学のガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書」を公表

【令和３年２月】

☆　さらなる産官学連携活動の推進・充実に加え，財政基盤の強化を図ることで，安定的かつ自律的な経営基盤を構築するため，令和３年４月１日以降に開始する新たな共同研究から，相手先企業等が負担する間接経費の算定方法をアワーレート方式から一律直接経費の 30%に改定【令和３年４月】

☆　各種スポーツの魅力を発信し，学内外を問わず，本学への愛着と親しみを感じてもらえるよう体育会に所属する 45 団体の特徴を反映したマスコットキャラクター「ひろティー」のバリエーションデザインを制作【令和３年６月】

☆　本学に所属する研究者約 1,900 人の専門分野や研究業績を，「ジャンル」「SDGs」「領域」「50 音順」から検索できるほか，検索ボックスによるキーワード検索も可能な，新たな研究者検索システム「研究者ガイドブック」の運用を開始【令和３年７月】

◎　新型コロナウイルス感染症に関する取組

☆　感染者との接触等により，自宅待機となった一人暮らしの学生や教職員に対し，食料などの応急生活物資を配達可能とする「新型コロナウイルス感染症に係る応急生活物資の配達協力に関する協定」を株式会社イズミと締結【令和２年 11 月】

☆　本学構成員の感染状況を受け，「新型コロナウイルス感染症対策室」を危機管理対策本部の下に設置【令和２年 12 月】

☆　新型コロナウイルス感染症への感染防止の観点から，卒業生・修了生のみを対象として，式典を学部と大学院の２回に分けて学位記授与式を挙行【令和３年３月】

☆　本学と京都大学との共同研究グループが，複数種類の新型コロナウイルス変異株に結合してウイルスを無力化する完全ヒト抗体を 10 日間で人工的に作り出す技術を開発【令和３年５月】

☆　全国の大学に先駆けて，広島大学病院や大学院医系科学研究科，歯学部に所属する歯科医師に新型コロナウイルスワクチン接種のための研修会を実施した上で，新型コロナワクチンの接種会場に継続的に派遣することを決定【令和３年５月】

☆　国と地元自治体の要請に応えて，大学を拠点とした新型コロナウイルスのワクチン大規模接種を東広島市と共同で開始し，学生・教職員等 16,000 人以上を対象にワクチン接種を実施【令和３年６月～９月】

☆　広島市及び広島県が高齢者を対象として実施する新型コロナワクチンの大規模接種会場へ広島大学病院から医師，歯科医師等を派遣して協力を開始【令和３年６月】

東広島キャンパスでの
新型コロナウイルスワクチン接種会場

☆　紫外線照射装置を用いた，中心波長 222nm 紫外線による新型コロナウイルスの不活化効果が変異株にも有効であることを発見【令和３年７月】

☆　新型コロナウイルス次世代抗体薬の開発に向けたクラウドファンディング「新型コロナウイルス次世代治療薬への挑戦～安心して暮らせる世界を目指して変異株に対する治療薬の開発を～」が第一目標 400 万円を大きく上回る 11,615,000 円の支援を受けて目標達成【令和３年９月】

☆　新型コロナウイルス感染症拡大により，経済的に困難な状況にある学生たちに，健康でおいしい朝食を届けるためのクラウドファンディング「＃広大朝食プロジェクト」が第一目標 150 万円を大きく上回る 4,355,000 円の支援を受けて目標達成【令和３年９月】

「＃広大朝食プロジェクト」で 50 円朝食を提供